

# 令和7年度 第1回 高知県歯と口の健康づくり推進協議会

## 次 第

### 1 開会

### 2 会長・副会長の選出

### 3 議事

(1) 歯と口の健康づくりに関する現状について (資料1)

(2) 令和6年度の実績及び令和7年度の実行予定について (資料2)

(3) その他

### 4 閉会

令和7年7月18日(金) 19時00分～20時30分

場所：高知市総合あんしんセンター2階 高知県歯科医師会館会議室

方法：対面とオンライン (Zoom) の併用開催

# 高知県歯と口の健康づくり推進協議会 委員名簿

任期：令和7年7月1日～令和9年6月30日

区分	所属等	役職等	氏名	備考
市町村	高知県市長会	事務局長	山崎 敬造	新会場
	高知県町村会	事務局長	笹岡 貴文	会場
保健医療関係者	高知県医師会	常任理事	伊与木 増喜	Web
	高知大学医学部	特任教授	山本 哲也	会場
	高知県歯科医師会	会長	野村 和男	会場
	高知市歯科医師会	会長	宮川 慎太郎	Web
	高知県歯科衛生士会	副会長	野村 加代	新会場
	高知県栄養士会	副会長	尾崎 美和	会場
	高知市保健所	管理主幹	上田 佳奈	会場
	高知県保健所長会	保健監	南 和	新Web
教育関係者	高知県小中学校長会	副会長	細川 健次	会場
	高知県保育士会	理事	能勢 あさ子	新会場
福祉関係者	高知県介護支援専門員連絡協議会	理事	小田原 恵子	会場
	高知県身体障害者連合会	常務理事兼事務局長	川渕 一也	新会場
事業者	高知県商工会議所連合会	専務理事	谷脇 明	欠席
	高知県農業協同組合中央会	総務企画部長	藤井 洋光	欠席
保険者	高知県国民健康保険団体連合会	保険者支援課長	諸石 恵子	欠席
	全国健康保険協会高知支部	企画総務グループ長	岡本 隆彦	会場
県民	高知県保幼小中高PTA連合体連絡協議会	監事	齊藤 雄也	欠席
	高知県健康づくり婦人会連合会	会長	熊田 敬子	会場

(敬称略、順不同)

## 事務局職員名簿

健康政策部	部長	中嶋 真琴	会場
保健政策課	課長	田邊 光治	会場
	保健推進監	松岡 智加	会場
	チーフ (健康づくり担当)	菊地 菜々子	会場
	主幹 (安芸福祉保健所兼務)	尾上 真奈美	会場
	技師	谷脇 利奈	会場
障害福祉課	チーフ (障害児支援担当)	中岡 辰則	会場
在宅療養推進課	チーフ (連携推進担当)	大崎 亮彦	会場
	主事	土居 優奈	会場
長寿社会課	主幹	森岡 有紀	会場
中央東福祉保健所健康障害課	チーフ (健康増進担当)	前田 由佳	会場
中央西福祉保健所健康障害課	主査	安岡 里緒	会場
須崎福祉保健所健康障害課	主幹	渋谷 莉加	会場
幡多福祉保健所健康障害課	技師	武内 美夢	会場

平成23年4月1日規則第29号

改正

令和4年4月1日規則第28号

高知県歯と口の健康づくり推進協議会の組織及び運営に関する規則をここに公布する。

高知県歯と口の健康づくり推進協議会の組織及び運営に関する規則

(趣旨)

**第1条** この規則は、高知県歯と口の健康づくり条例（平成22年高知県条例第35号）第13条第1項の規定により置かれる高知県歯と口の健康づくり推進協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

**第2条** 協議会は、委員20人以内で組織する。

(委員)

**第3条** 委員は、学識経験を有する者のうちから、知事が委嘱する。

(任期等)

**第4条** 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

**第5条** 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

**第6条** 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

2 会議の議長は、会長が当たる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開き、及び議決をすることができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

**第7条** 協議会の庶務は、高知県健康政策部保健政策課において処理する。

(雑則)

**第8条** この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

**附 則**

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 第6条第1項の規定にかかわらず、この規則の施行の日以後最初に開かれる会議は、知事が招集する。

3 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和4年4月1日規則第28号）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

(1) 歯と口の健康づくりに関する現状について

※（新）：第3期高知県歯と口の健康づくり基本計画より新たに追加された評価指標

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R6年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
(新) 妊婦歯科健診受 診者率(受診者 数/出生数)	36.9% <sup>1)</sup>	43.8% <sup>5)</sup>	<p>※H28はH28.8～</p>	40%以上
(新) 保護者が仕上げ みがきをしてい る割合 1歳6か月児	74.8% <sup>2)</sup>	68.3% <sup>6)</sup> (R5)		80%以上
むし歯のない3 歳児の割合	85.8% <sup>3)</sup>	91.4% <sup>7)</sup>		92%以上
保育所・幼稚園 等でのフッ化物 洗口の実施割合	66.9% <sup>4)</sup>	72.0% <sup>8)</sup>		80%以上

1) 出生数：令和2年人口動態  
受診者数：令和2年度妊婦歯科健診受診者数データ（高知県歯科医師会調べ）  
2) 令和2年度健やか親子21  
3) 令和2年度3歳児歯科健康診査（高知県）  
4) 令和2年度フッ化物応用実施状況調査（高知県）

5) 出生数：令和6年人口動態  
受診者数：令和6年度妊婦歯科健診受診者数データ（高知県歯科医師会調べ）  
6) 令和5年度健やか親子21  
7) 令和6年度3歳児歯科健康診査（高知県）  
8) 令和6年度フッ化物応用実施状況調査（高知県）

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R6年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
一人平均むし歯 数（永久歯） 12歳	0.68本 <sup>1)</sup>	0.59本 <sup>2)</sup>		0.5本以下
(新) 12歳児でのむし 歯のない者の割 合	71.1% <sup>1)</sup>	70.7% <sup>2)</sup>		80%以上
一人平均むし歯 数（永久歯） 17歳	2.14本 <sup>1)</sup>	1.46本 <sup>2)</sup>		1.5本以下
歯肉に炎症所見 を有する者の割 合 12歳	27.0% <sup>1)</sup>	21.5% <sup>2)</sup>		20%以下

1) 令和2年度高知県学校歯科保健調査（高知県歯科医師会）  
2) 令和6年度高知県学校歯科保健調査（高知県歯科医師会）

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R6年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
歯肉に炎症所見 を有する者の割合 17歳	23.5% <sup>1)</sup>	15.9% <sup>3)</sup>	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H28 H30 R2 R4 R6 R8</p>	20%以下
20歳代における 歯肉に炎症を有 する者の割合	62.1% <sup>2)</sup>	—	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H27 R2 R7</p>	50%以下
40歳代における 進行した歯周炎 (4mm以上の 歯周ポケットあ り)を有する者 の割合	68.7% <sup>2)</sup>	—	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H27 R2 R7</p>	50%以下
40歳の未処置歯 を有する者の割 合	36.2% <sup>2)</sup>	—	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H27 R2 R7</p>	25%以下

1) 令和2年度高知県学校歯科保健調査（高知県歯科医師会）  
2) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）  
3) 令和6年度高知県学校歯科保健調査（高知県歯科医師会）

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R6年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
40歳で喪失歯のない者の割合	69.7% <sup>1)</sup>	—		75%以上
50歳代における進行した歯周炎（4mm以上の歯周ポケットあり）を有する者の割合	72.2% <sup>1)</sup>	—		60%以下
歯間部清掃用具を使用する者の割合（17歳以上）	64.4% <sup>1)</sup>	57.9% <sup>2)</sup> (参考)		70%以上
定期的に歯科健診を受けている者の割合（17歳以上）	62.4% <sup>1)</sup>	54.1% <sup>2)</sup> (参考)		70%以上

1) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）  
2) 令和4年度高知県県民健康・栄養調査（高知県）

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R6年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
60歳の未処置歯 を有する者の割 合	30.5% <sup>1)</sup>	—	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H27 R2 R7</p>	25%以下
60歳代における 進行した歯周炎 (4mm以上の 歯周ポケットあ り)を有する者 の割合	72.1% <sup>1)</sup>	—	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H27 R2 R7</p>	65%以下
60歳で自分の歯 を24本以上有す る人の割合	70.1% <sup>2)</sup>	—	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H27 R2 R7</p>	80%以上
60歳代における 咀嚼良好者の割 合	65.4% <sup>1)</sup>	—	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H27 R2 R7</p>	80%以上

1) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）

2) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査をもとに  
智歯を加味して再集計したもの

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R6年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
80歳で自分の歯 を20本以上有す る者の割合	56.7% <sup>1)</sup>	—	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H27 R2 R7</p>	60%以上
(新) 半年前に比べて 固いものが食べ にくくなった者 の割合 (75-79歳)	26.0% <sup>2)</sup>	25.3% <sup>4)</sup>	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8</p>	15%以下
(新) お茶、汁物でむ せることがある 者の割合 (75-79歳)	19.8% <sup>2)</sup>	22.6% <sup>4)</sup>	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8</p>	15%以下
定期的な歯科健 診を全員または 一部に実施して いる介護老人福 祉施設・介護老 人保健施設の割 合	46.6% <sup>3)</sup>	—	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H27 R2 R7</p>	50%以上

1) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査をもとに  
智歯を加味して再集計したもの  
2) 令和2年度後期高齢者歯科健診結果  
3) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）  
4) 令和6年度後期高齢者歯科健診結果

評価指標	第3期 計画策定時 (R4.3)	現状値 (R6年度)	データ推移による類推	目標値 R8年度
定期的な歯科健診を全員または一部に実施している障害（児）者入所施設の割合	83.9% <sup>1)</sup>	—	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H27 R2 R7</p>	90%以上
糖尿病患者のうち歯科医療機関を受診した者の割合（30-75歳）	48.9% <sup>2)</sup>	51.5% <sup>3)</sup>	<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8</p>	53%以上

1) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）

2) 令和2年度高知県国民健康保険団体連合会「糖尿病患者の歯科レセプト分析」

3) 令和6年度高知県国民健康保険団体連合会「糖尿病患者の歯科レセプト分析」

【参考】令和6年度歯周病保健指導実施委託業務アンケート結果

回答者：958人

内訳：男性 534人（56%）、女性 410人（43%）、性別記入なし 14人（1.5%）

年代：40代、50代の回答者が459人で全体の半数を占めた。

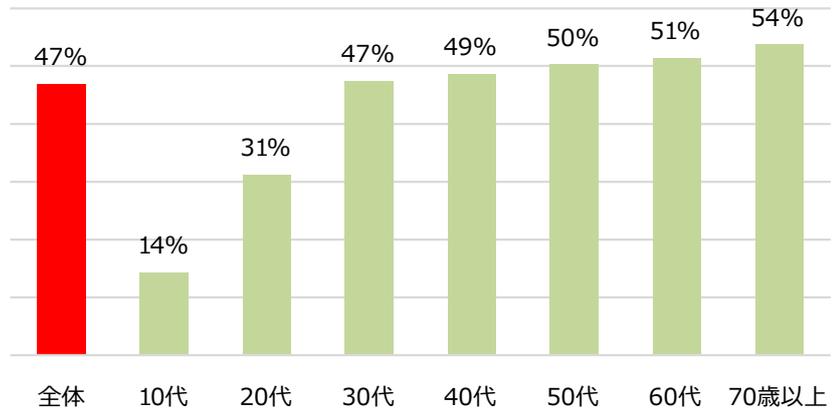
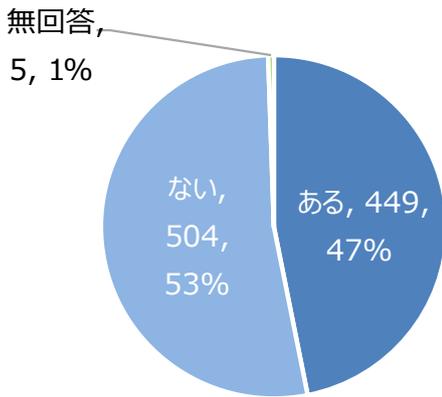
	建設業	製造業	電気・ガス・水道	運輸・通信	卸・小売り	金融・保険	サービス業	その他	記入無	総計
男性	153	188	7	20	22	6	61	76	1	534
女性	27	170	4	5	15	6	59	121	3	410
性別不明	6	4					1	2	1	14
総計	186	362	11	25	37	12	121	199	5	958

①口の中で気になる症状

全体では、47%の人が「口の中に気になることがある」と回答した。年代別にみると、「ある」と答えた人は年代が上がるごとに増え、30代以降は約半数に達した。内容は、複数回答で「出血」「口臭が気になる」「歯が伸びた」などが多く、歯周病がうかがわれる内容であった。

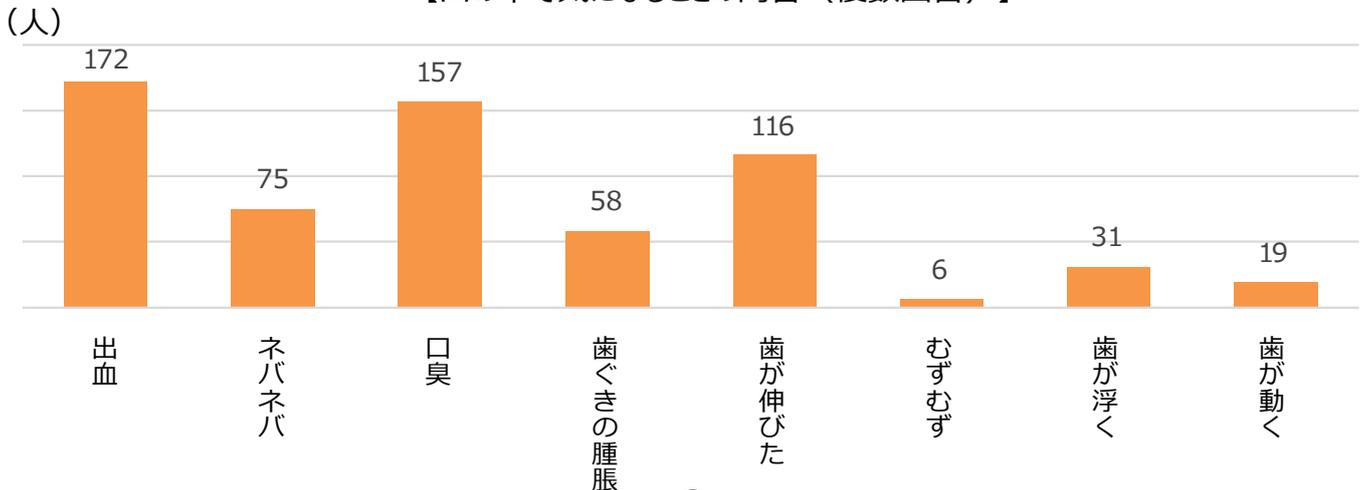
【口の中で気になることがある人（全体）】

【口の中で気になることがある人（年代別）】



※R5：「口の中で気になることがある人（全体）」の割合は、53%だった。

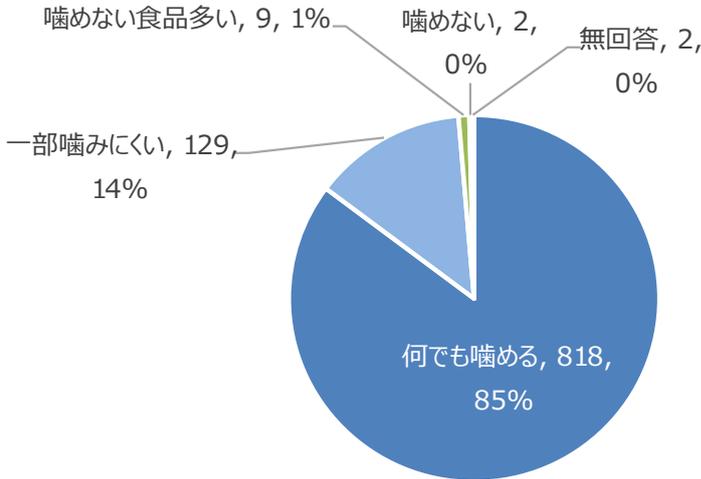
【口の中で気になることの内容（複数回答）】



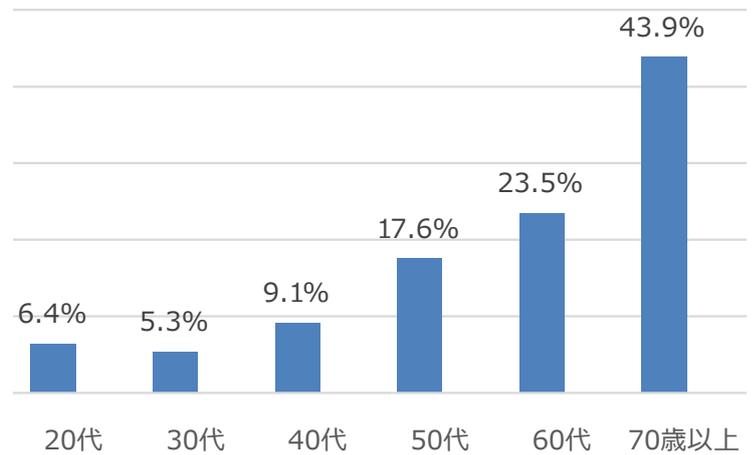
## ②咀嚼の状況

全体では、85%の人が「何でも噛める」と回答しているが、「一部噛みにくい」「かめない食品が多い」「噛めない」と回答した人も15%あった。特に、50代から噛みにくいと答える人が増加し、60代では4人に1人が咀嚼に問題があることがわかった。

【咀嚼の状況（全体）】



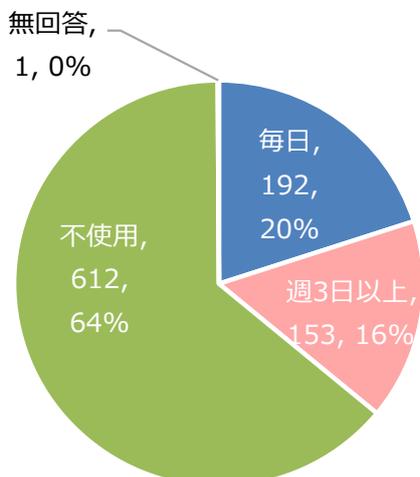
【咀嚼に問題があると回答した人の割合（年代別）】



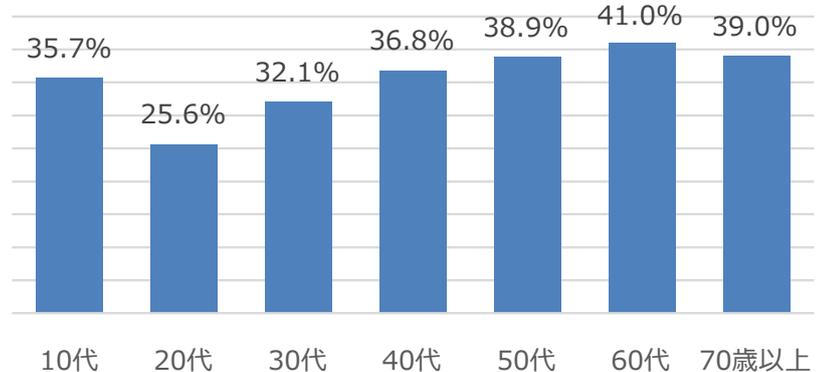
## ③糸ようじや歯間ブラシの使用状況

歯周病予防に有効といわれる歯間部清掃用具である「糸ようじや歯間ブラシ」を週3回以上使用している人は、男性29%、女性45%で女性の使用率が高く、全体で36%であった。年代別では年齢が高くなるほど使用率が高かった。また、回答者数は少数であったが10代も36%と高い使用率を示した。

【糸ようじや歯間ブラシの使用状況（全体）】



【糸ようじや歯間ブラシを使用している人（年代別）】

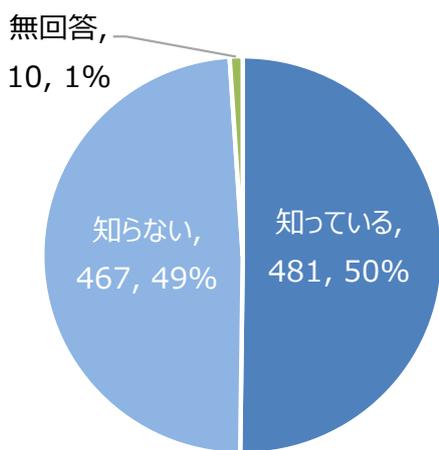


※R5：週3回以上糸ようじや歯間ブラシを使用している人は全体で28%だった。

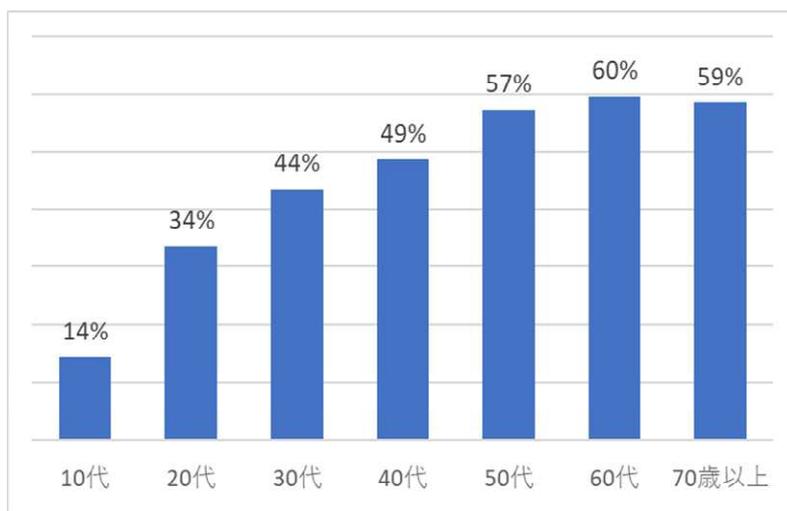
#### ④ 歯周病と全身との関係

歯周病と全身の関係を知っている人は全体で481人（50%）であり、男性は43%、女性59%で女性の知っている割合が高かった。年代別では、年齢が上がるに従い知っている人が増加する傾向にあった。情報の収集元はテレビ番組やテレビCM等テレビからが多く、次いで歯科医院でと回答した人が多かった。その他、インターネットや一般病院などが続き、あらゆる機会に情報提供がされていることがわかった。

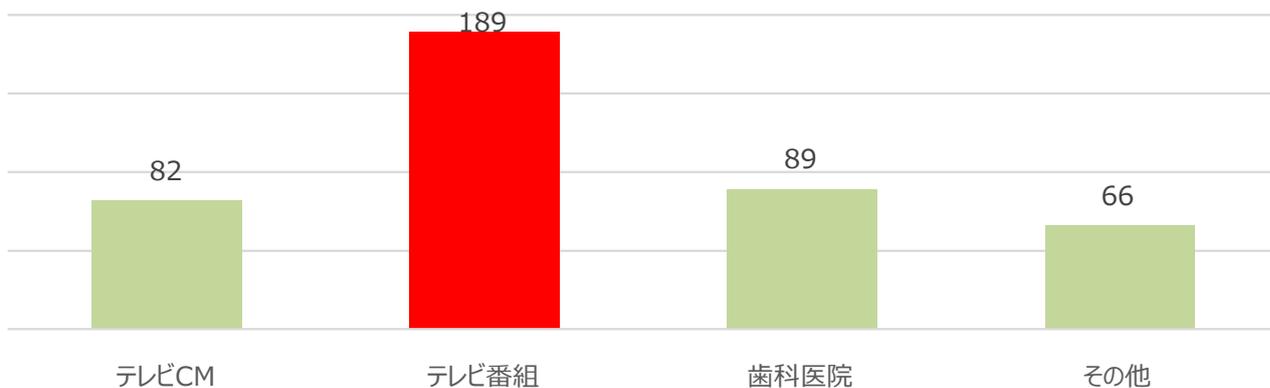
【歯周病と全身との関係を知っている人（全体）】



【歯周病と全身との関係を知っている人（年代別）】



【情報源（複数回答）】



【その他の情報源内訳（複数回答）】

	インターネット	病院	研修	雑誌・本	学校等で学んだ	人づて	健診等で	なんとなく
男性	9	5	0	1	2	2	1	1
女性	9	2	5	2	2	2	1	1
性別不明				1				
計	18	7	5	4	4	4	2	2

(2) 令和 6 年度の取組実績  
及び令和 7 年度の取組予定について

# (1) 子どもの歯と口の発達

## 1) むし歯予防対策

### ① 令和6年度取組実績

- 令和6年度に子どもの健口応援推進事業を活用して新規にフッ化物洗口を導入した施設は、5施設（幼稚園1園、保育所2園、特別支援学校2施設）で実施率69.7%となった。

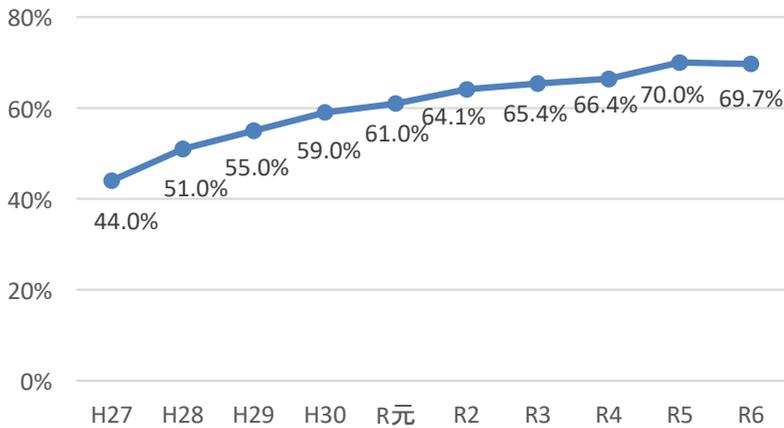
※昨年度末にフッ化物洗口実施率の考え方を下記のとおり見直したため、実施率の低下が見られる。

【総施設数】休園・休校している施設は除く

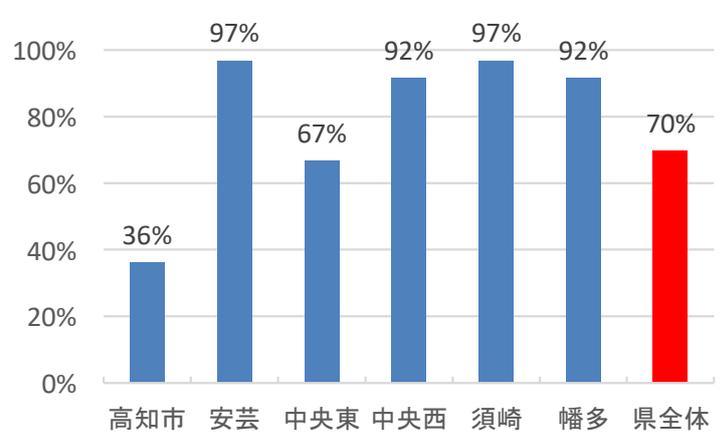
【実施施設数】現在フッ化物洗口を実施している施設数

(対象者不在等によりフッ化物洗口を実施していない場合は除く)

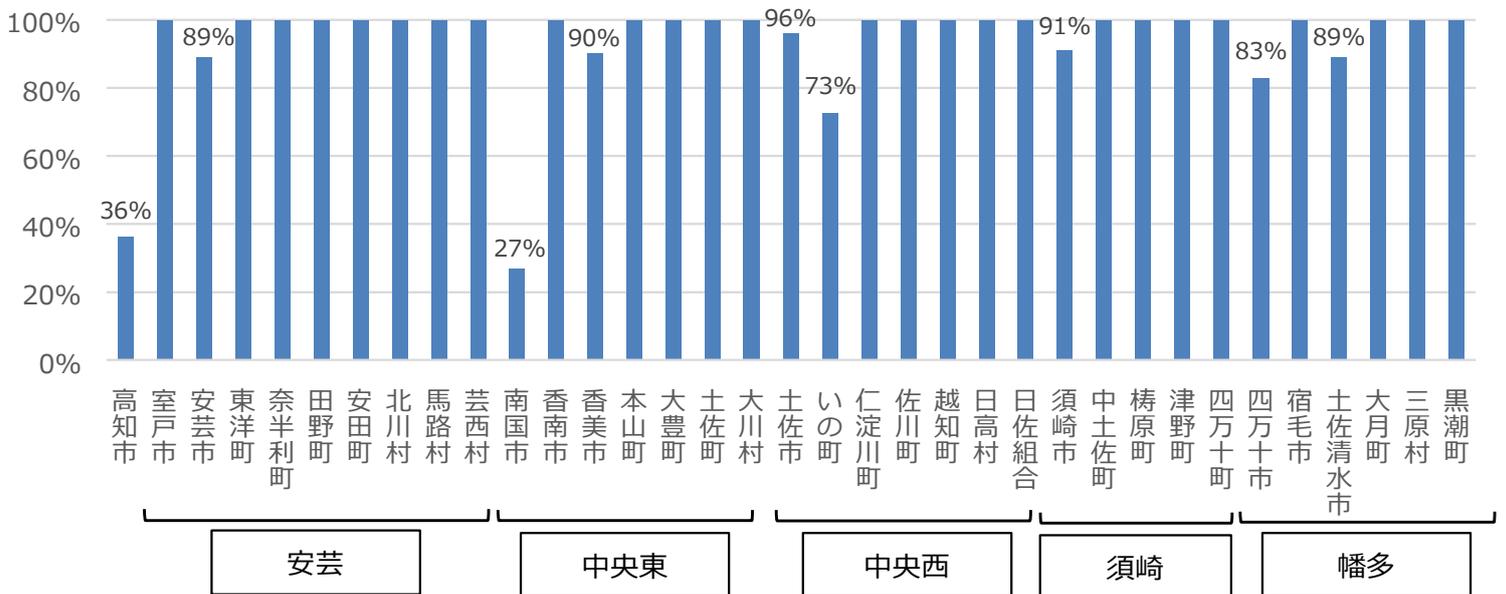
【フッ化物洗口施設実施率※年度推移】  
(H27年度～R6年度)



【圏域別フッ化物洗口施設実施率※】  
(R6年度末時点)

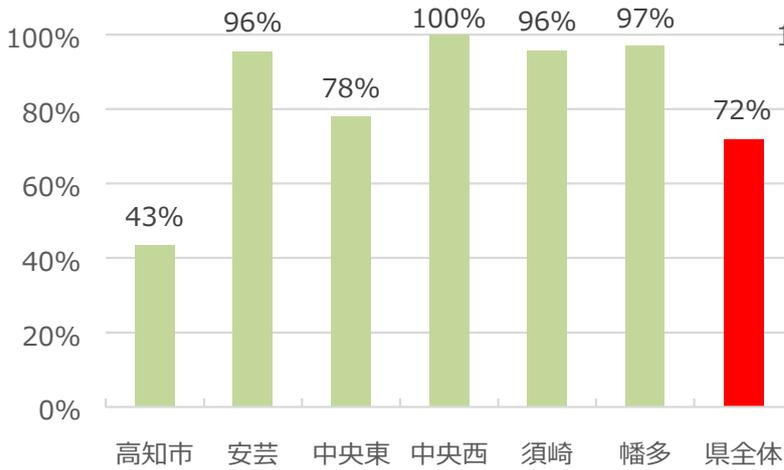


【市町村別フッ化物洗口施設実施率 (R6年度末時点) ※】

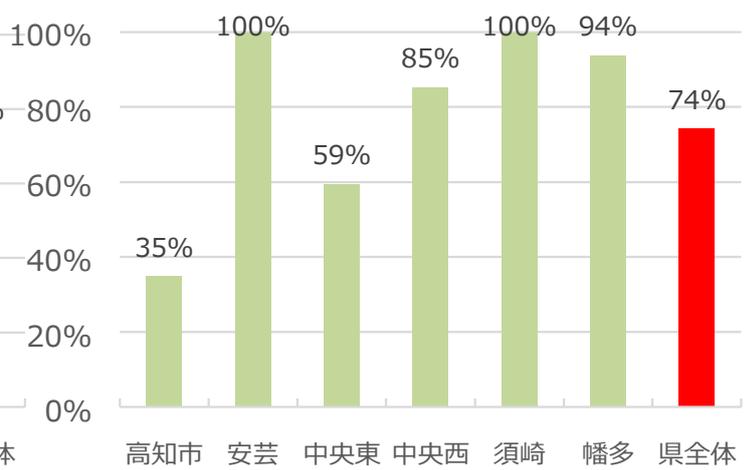


※フッ化物洗口実施率：保育所、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校（中等部まで）施設における「フッ化物洗口実施施設／総施設」  
(出典) H27年度～R6年度フッ化物洗口実施状況調査（保健政策課）

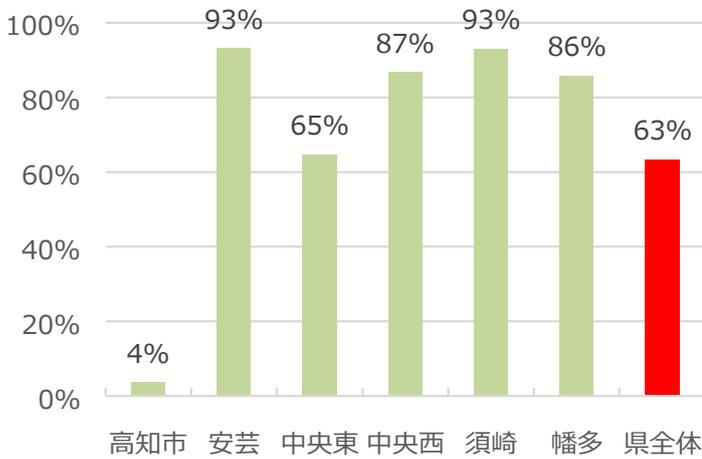
【圏域別フッ化物洗口実施率】  
（保育所・幼稚園・認定こども園施設割合）



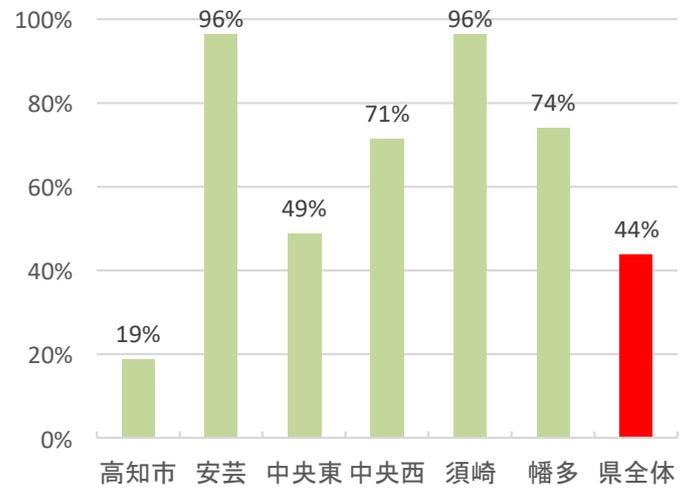
【圏域別フッ化物洗口実施率】  
（小学校施設割合）



【圏域別フッ化物洗口実施率】  
（中学校施設割合）

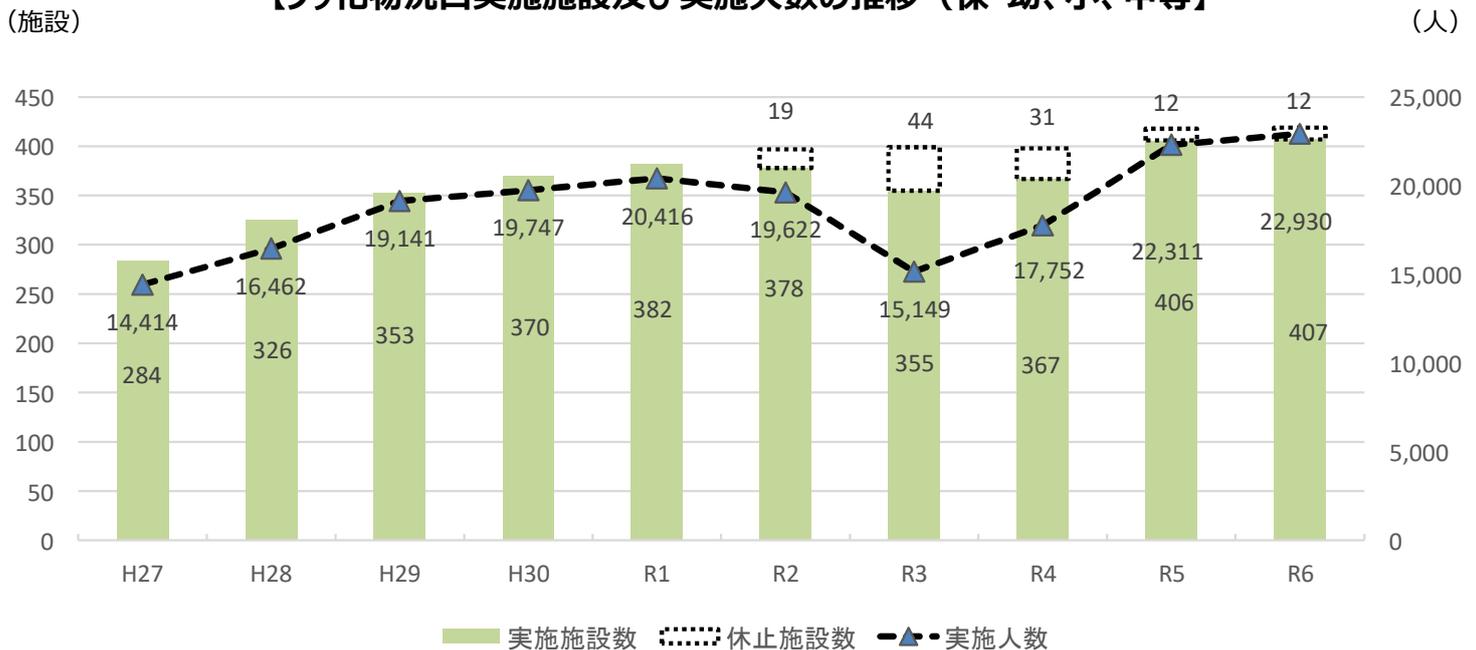


【小学生のフッ化物洗口実施人数の割合】



（出典）R6年度フッ化物洗口実施状況調査（保健政策課）

【フッ化物洗口実施施設及び実施人数の推移（保・幼、小、中等）



（出典）H27年度～R6 フッ化物洗口実施状況調査（保健政策課）

## ② 評価・課題

- 香美市では、2施設に支援を行い全保・幼・こども園、小中学校で洗口が実施となった。
- フッ化物洗口実施現場の確認や、実施にあたっての技術的支援などのフォローアップが必要である。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で洗口を休止している施設への再開支援が必要である。

## ③ 令和7年度の実施予定

### ■ 子どもの健口応援推進事業

・新たにフッ化物洗口を開始する施設への導入支援

※令和7年6月時点では申請なし。

・フッ化物洗口実施率が100%未満の市町への支援や、新型コロナウイルス感染症の影響で洗口を休止している施設への再開支援

・フッ化物洗口実施現場の確認や、実施にあたっての技術的支援などのフォローアップ

市町村	実施予定施設	R7年度の実施予定
いの町	—	フッ化物洗口未実施施設における実施に向けた検討を関係機関と実施
四万十市	特別支援学校	新型コロナウイルス感染症の影響で洗口を休止している施設に対し、教職員が事業概要、実施方法、実施の注意点等を理解し、学校全体として取り組みが再開できるよう、研修会等を開催
黒潮町	小学校	フッ化物洗口の準備、実施方法等に関する研修会の開催

## (2) 歯肉炎・歯周炎の予防

### 1) 成人・妊婦歯科健診（市町村事業）の取り組み支援

#### ① 令和6年度取組実績

##### ■ 令和6年度成人歯科健診受診者数（市町村事業 独自実施を除く）

	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受診者数	2,426	67	152	228	250	216	254	220	183	173	184	379	120

\* その他独自実施の3市では399人の受診があった

（参考 集合契約市町村分）令和5年度受診者数 2,130人

（参考 独自実施市町村分）令和5年度受診者数 472人

##### 実施市町村数

H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
12	30 (1)	32 (3)	34 (3) *	34 (3) *	34 (3) *	34 (3) *

( ) 内独自市町村の再掲

\* 1市重複

##### ■ 令和6年度妊婦歯科健診受診者数（市町村事業 独自実施を除く）

	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受診者数	1,252	85	93	120	112	110	114	109	102	89	98	122	98

\* その他独自実施の市では109人の受診があった

（参考 集合契約市町村分）令和5年度受診者数 1,292人

（参考 独自実施市町村分）令和5年度受診者数 112人

##### 実施市町村数

R元	R2	R3	R4	R5	R6
27 (3)	31 (3)	33 (2)	33 (2) *	34 (1)	34 (1)

( ) 内独自市町村の再掲

\* 1市重複

##### ■ 国の歯周病検診マニュアル及び歯科健康診査票が改定されたことに伴い、県の成人歯科健康診査受診票改定案について検討

## ② 評価・課題

- 引き続き歯科健診受診者数の増加及び対象年齢の拡大について市町村と連携し検討が必要
- 国から新たなマニュアル及び診査票を用いた歯周疾患検診を令和 8 年度から実施するとの方針が示されたことから、高知県の成人歯科健康診査等実施マニュアル及び受診票の改定が必要

## ③ 令和 7 年度 of 取組予定

- 健診受診率向上のため、地域歯科保健連絡会等を活用し、各市町村と連携した啓発の検討
- 歯と口の健康に関するイベントにて普及啓発
- 令和 8 年度に向けて、高知県成人歯科健康診査等実施マニュアル及び受診票の改定

## ■ 実施市町村

市町村名	成人			妊婦	
	7年度実施	自己負担	対象年齢	7年度実施	自己負担
高知市	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
室戸市	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
安芸市	独自・集合	無	独自：特定健診において実施（19歳以上） 集合：20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
南国市	独自	無	歯科医療機関（全市民） 特定健診において実施（40歳以上）	独自	無
土佐市	独自	無	40歳以上希望者全員（集団健診、健康フェスタ：土佐市に住所を有する成人） 1.6歳健診保護者（希望者全員）	○	無
須崎市	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、65歳、70歳	○	無
宿毛市	○	500円	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
土佐清水市	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
四万十市	○	500円	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
香南市	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、55歳、60歳、70歳	○	無
香美市	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
東洋町	○	無	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳	○	無
奈半利町	○	無	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳	○	無
田野町	○	無	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳	○	無
安田町	○	無	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳	○	無
北川村	○	無	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳	○	無
馬路村	○	無	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳	○	無
芸西村	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
本山町	○	無	20～74歳の全住民	○	無
大豊町	○	無	20歳～74歳まで	○	無
土佐町	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
大川村	○	無	20歳～74歳まで	○	無
いの町	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
仁淀川町	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
中土佐町	○	無	中土佐町に住所を有する成人（20歳～74歳） （後期高齢者医療保険加入者を除く）	○	無
佐川町	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
越知町	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
梶原町	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
日高村	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
津野町	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
四万十町	○	600円	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
大月町	○	無	20歳以上希望者全員	○	無
三原村	○	無	20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳	○	無
黒潮町	○	無	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳	○	無

## 2) 歯周病予防啓発事業

### ① 令和6年度の取組実績

- 高知県歯科医師会に委託して実施

- 健口DAYの開催

日時：11月23日（土）10:00～15:00

場所：高知蔦屋書店

参加者数：147名※（各ブース参加：123名、セミナー参加：24名）

※同行者除く

（イベント内容）

- ・歯科健診、唾液検査、歯科相談ブースを設置し、口腔内の状態チェックや口に関する悩み相談を実施
- ・歯周病やむし歯などの原因や治療法について学べる健口セミナーの開催

（イベント周知）

- ・テレビやラジオで周知
- ・高知新聞子育て応援webメディア「ココハレ」に告知記事を掲載
- ・チラシ、ポスターを作成し市町村、福祉保健所等に配布
- ・広報用CM（15秒）を制作し放送（令和6年11月 民放3局）

- マスメディア等を活用し、県民に向けた歯周病に関する周知啓発を実施

- ・テレビCMの放送（15秒、30秒）

（令和6年12月～令和7年3月 民放3局 計44本）

### ② 評価・課題

- 広報を段階的に行うことでイベント当日までイベントのことを意識してもらえ集客につながった。
- 歯科相談をした方の中には、かかりつけ歯科を受診をしてみるという方もみられ、定期的な歯科健診の重要性について県民に周知する機会となった。

### ③ 令和7年度の取組予定

- 歯周病予防啓発イベントの開催
- 歯周病予防啓発に関するテレビCMの放送



#### CM絵コンテ



### 3) 歯周病保健指導実施委託業務

#### ① 令和6年度の取組実績

- 高知県歯科衛生士会に委託して実施
- 歯科衛生士を対象にしたアドバイザー養成研修会を3回実施

実施日	内容	会場	参加者数
令和6年7月14日(日) 10:00~12:10	「ナッジで予防へ動かす」 講師 青森大学 客員教授 竹林 正樹 氏	高知学園短期大学	76名
令和6年8月4日(日) 10:00~12:10	「歯科疾患の機序」 講師 大阪大学大学院歯科学研究科 予防歯科学講座 特任教授 天野 敦雄 氏	高知学園短期大学	91名
令和6年8月4日(日) 12:45~14:30	「リーフレットを用いた実践、演習」 アンケート等事業説明 (グループワーク)	高知学園短期大学	30名

- 事業所での歯科保健指導を15回実施

実施日	事業所（実施場所）	受講者数
R6年7月5日	高知機型工業株式会社	25
R6年7月24日	協会けんぽ	20
R6年7月31日	協会けんぽ	28
R6年9月6日	(株)あさの四万十工場	41
R6年9月11日	ダイレイ（株）	51
R6年9月14日	大正健康管理センター	72
R6年9月17日	四万十会館	53
R6年9月18日	池川体育館	96
R6年9月21日	三昭紙業（株）	141
R6年10月20日	高知県総合保健協会	37
R6年10月22日	四万十市立武道館	80
R6年11月6日	四万十市立武道館	73
R6年11月28日	土佐清水市民体育館	81
R6年12月13日	北川村民会館	108
R6年12月19日	奈半利町保健センター	108
合計		1,014

## ② 評価・課題

- 研修により、事業所での歯周病保健指導ができる歯科衛生士を新たに10名養成。  
3年間で53名のアドバイザーを養成。
- 今後は養成したアドバイザーのフォローアップや歯周病保健指導の充実が必要

## ③ 令和7年度の取組予定

- 高知県歯科衛生士会に委託して実施
- 新 ■ 歯周病保健指導アドバイザーを対象としたフォローアップ研修会を開催予定
- 新 ■ 歯科衛生士資格保有者を対象とした実技研修会を開催予定

実施日	内容	会場
令和7年7月27日(日) 10:00~12:00	○講義 「歯周病保健指導実施委託業務リーフレット改定 歯周病治療の流れの一例についての再確認」 ○実習 「歯周病検査（プロービング）相互実習」 ○講師 高知県歯科衛生士会 学術部 部長 佐竹 由紀子 氏	高知学園短期大学
令和7年9月7日(日) ①10:00~12:00 ②12:00~12:30 ※Zoomによるハイブリット開催	①講演 「歯周病と栄養」 講師 龍馬情報ビジネス&フード専門学校 非常勤講師 渡邊 慶子 氏 ②「令和7年度歯周病保健指導実施委託業務について」 ・リーフレット改訂版 ・事業説明	高知学園短期大学 または各自受講場所

- 事業所での歯科保健指導の実施
  - ・事業所等から相談・申込を受けて、実施内容及び時期等の調整を行い、アドバイザーを15箇所程度の事業所に派遣し、歯科保健指導を実施
  - ・実施する業務：健診会場での指導、研修会における講演等、昼休み等を利用した指導

### (3) 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上

#### 1) オーラルフレイル対策

##### ① 令和6年度取組実績

(長寿社会課)

- 地域包括支援センター職員研修において、地域ケア会議への歯科衛生士をはじめとする各専門職の参加の必要性等について講義を実施（7/18）
- 地域包括支援センター等が開催する「地域ケア会議」において、助言者として歯科衛生士が参加している保険者は21保険者。
- かみかみ百歳体操における取組実績を市町村ヒアリングにて把握
- 歯科衛生士会をはじめとする各専門職団体と連携しオンライン介護予防教室を実施（12回開催）

(保健政策課)

- 歯科保健地域連絡会や健康増進担当者会等で、昨年度作成した通いの場等のできるオーラルフレイル予防マニュアルの周知
- 市町村に通いの場等のできるオーラルフレイル予防マニュアル活用状況調査の実施
- 市町村職員等を対象にオーラルフレイル対策勉強会の開催



実施日	内容	方法	参加者自治体
令和7年1月21日(火) 10:00~11:40	<p>○講演1 「オーラルフレイル予防複合プログラム（カムカム健康プログラム）の取り組み状況と効果」 講師：東京科学大学大学院 地域・福祉口腔機能 管理学分野 教授 松尾 浩一郎 氏</p> <p>○講演2 「カムカム健康プログラムin大月町」 講師：大月町役場健康福祉課 保健師 山岡 友里恵 氏</p>	web形式 (zoomミーティング)	15自治体 + 5福祉 保健所



## 2) 障害者の歯科治療の推進

### 2) - 1 重度心身障害児・者歯科診療事業

高知県歯科医師会が県の補助を受けて、歯科保健センター及び幡多分室で実施

#### 【目的】

一般の歯科医院等では診療が困難な重度心身障害児・者に対して、特別の人員構成をもって、障害特性に配慮した診療技術、口腔衛生の観点から歯科診療を行う。

#### ①令和6年度実績

##### ■ 重度心身障害児・者歯科診療事業の診療実績（高知、幡多）

	R5	R6
歯科保健センター (高知市)	2,087人 (1日平均23人)	2,075人 (1日平均23人)
幡多分室 (四万十市)	326人 (1日平均14人)	338人 (1日平均14人)

##### ■ 歯科保健センターの体制

実施場所：高知市総合あんしんセンター 1階

診療日：毎週土曜日、毎月2回木曜日の午後（平成30年度～）

	診療時間	実働時間	実施体制	
			歯科医師	歯科衛生士
午前	10:00～12:00 (2時間)	9:30～12:30 (3時間)	2～4人 ※県外の歯科医師1人を含む	6～8人
午後	13:00～16:00 (3時間)	12:45～17:00 (4時間15分)	4～5人 ※県外の歯科医師1人を含む	7～10人 ※インストラクター衛生士1人を含む

※令和4年4月から全身麻酔下による歯科治療を開始（毎月第1、第3木曜日の午前中）

※平成28年9月から月1回木曜日午後の診療を開始、平成30年度より木曜日午後の診療を月2回に変更

##### ■ 幡多分室の体制

実施場所：四万十市立市民病院内（四万十市）

診療日：毎月第2・第4日曜日

	診療時間	実働時間	実施体制（標準的な体制）	
			歯科医師	歯科衛生士
午前	9:30～12:00 (2時間30分)	8:40～12:00 (3時間20分)	3人 ※県外の歯科医師1人を含む	6～8名
午後	13:20～15:00 (1時間40分)	13:10～15:30 (2時間20分)		

## 2) - 2 重度心身障害児・者歯科医療技術者養成研修

### ①令和6年度の実績

実施日	令和6年9月28日(土)
実施場所	高知県歯科医師会館 会議室
参加者	歯科医師29名、歯科衛生士51名、歯科衛生士学生27名、その他1名
内容	講演 ①【こどもを泣かせないための17のうら技】 ②【だから歯科衛生士っておもしろい！「治療もまた楽し！」 ～歯科診療の中での小児の対応について～】 講師 ① 国立モンゴル医学・科学大学部客員教授 岡崎 好秀先生 ② 歯科保健センターインストラクター-歯科衛生士 井上 治子先生
実施日	令和6年11月27日(水)
実施場所	高知県歯科医師会館 会議室
参加予定者	歯科医師33名、歯科衛生士47名、スタッフ2名、学生25名、その他3名
内容	講演 「発達障害とはなにか？ 障害の種類や小児の心身の特性について ～自閉症の子ども達の行動の意味を知る～」 講師 高知市教育委員会 高知市教育研究所 特別支援教育担当副参事 八木 千晶先生
実施日	令和6年12月21日(土)
実施場所	高知県歯科医師会館 会議室
参加予定者	歯科医師30名、歯科衛生士44名、スタッフ1名
内容	講演 ①【～口の中はふしぎがいっぱい～なぜ口腔機能発達不全症が増えるのか？】 ②【だから歯科衛生士っておもしろい！「生命の口」-口腔ケアって深～い-】 講師 ① 国立モンゴル医学・科学大学部客員教授 岡崎 好秀先生 ② 歯科保健センターインストラクター-歯科衛生士 井上 治子先生

※見学実習 2回実施 参加歯科医師 のべ8名 歯科衛生士等のべ12名

### 【評価・課題】

- 患者数は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和2年度から減少していたが、令和5年度は前年度から増加し、令和6年度もほぼ同数となっている。
- 令和4年3月から全身麻酔下治療の体制を整備し、重度の知的障害等のある患者に対する安全が確保された歯科治療を提供することができている。
- 地域における障害者歯科医療のあり方（地域の診療所で初診を担い、歯科保健センターがフォローを行うなどの連携システムの構築）について検討が必要である。

### 【令和7年度の取組予定】

- 歯科保健センターなどにおいて、重度心身障害児・者歯科診療事業の実施
- 重度心身障害児・者歯科医療技術者養成研修の実施
- 全身麻酔下法による歯科治療の実施
- 地域における障害者歯科医療のあり方の検討

## (1) 在宅歯科医療連携室運営事業

1. 目的：通院が困難な方に対する在宅歯科医療における医療や介護等の他分野との連携を図るための窓口を設置し、住民や在宅歯科医療を受ける方・家族等のニーズに応え、地域における在宅歯科医療の推進及び他分野との連携体制の構築を図る。
2. 対象：高齢や障害などの理由で歯科診療所への通院が困難な方
3. 委託先：一般社団法人高知県歯科医師会

### ①令和6年度の実績

○在宅歯科連携室の体制

体制	高知連携室 (H23~)	幡多連携室 (H29.5~)	東部連携室 (R元.5~)
場所	高知県歯科医師会館内	四万十市立市民病院内	旧安芸市立清水ヶ丘中学校内
スタッフ数	歯科衛生士 常勤1名、非常勤1名	歯科衛生士 常勤1名、非常勤1名	歯科衛生士 常勤1名
対応エリア	中央・高幡保健医療圏域	幡多保健医療圏	安芸保健医療圏
開設日	月～金	月～金	月～金

これまでの稼働件数 (H23年度 - R6年度)



○令和6年度 相談件数内訳

相談月	件数（高知）	件数（幡多）	件数（東部）	計
R6.4	20	22	10	52
R6.5	16	21	13	50
R6.6	23	24	11	58
R6.7	21	20	18	59
R6.8	12	33	10	55
R6.9	17	19	11	47
R6.10	13	20	22	55
R6.11	13	31	10	54
R6.12	13	26	13	52
R7.1	12	21	10	43
R7.2	15	18	13	46
R7.3	14	27	10	51
合計 (A)	189	282	151	622
参考R5年度	184	323	144	651

○令和6年度 訪問診療内訳

相談月	件数（高知）	件数（幡多）	件数（東部）	計
R6.4	8	15	3	26
R6.5	4	11	4	19
R6.6	10	11	5	26
R6.7	7	2	3	12
R6.8	6	15	1	22
R6.9	9	7	2	18
R6.10	4	9	6	19
R6.11	7	12	1	20
R6.12	2	17	1	20
R7.1	6	11	4	21
R7.2	7	2	5	14
R7.3	4	3	0	7
合計 (B)	74	115	35	224
参考R5年度	57	143	29	229
相談から診療につながった割合 (B/A)	39%	41%	23%	36%

## ○広報活動回数

医療関係者や介護関係者等に対し、啓発内容を見直したチラシや、マグネットの配布等の広報を行った。

	高知	幡多	東部
病院	2	7	5
施設、事業所 (ケアマネ・訪看)	43	29	13
イベント (福祉機器展、講演会等)	2	2	42
その他 (薬局、行政機関等)	42	42	28
計	89	80	88
参考R5年度	105	99	85

普及啓発マグネット



ボールペン

令和6年度に内容を見直した普及啓発チラシ

## ○運営検討会

- ・幡多在宅歯科連携室検討会（第1回:R6.6.12／第2回:R7.2.18）
  - ・東部在宅歯科連携室検討会（第1回:R6.6.13／第2回:R7.2.13）
  - ・高知在宅歯科連携室検討会（第1回:R6.6.3／第2回:R6.7.5／第3回:R7.2.19）
- 県歯科医師会、安芸福祉保健所、幡多福祉保健所と運営状況の共有、機能強化に向けた協議

## ○協議会等開催

会議名	開催日	開催場所	出席者	内容
在宅歯科医療連携室 運営事業連携協議会	R7.3.28 (金)	高知県歯科 医師会館	22	・事業説明 ・稼働状況報告 ・広報・周知や多職種との連携に ついての協議等

## ○歯科訪問診療研修会

- ・令和6年度の診療報酬改定を受けて、診療報酬に関する基礎知識や、これから訪問歯科診療を始める歯科医師向けの座学研修を実施

### 【研修内容】

#### 演題①「歯科訪問診療を始める第一歩」

講師：高知県歯科医師会地域包括ケア推進委員会委員 伊藤 充孝 氏

#### 演題②「初めての歯科訪問診療～診療報酬請求・介護保険請求入門編～」

講師：高知県歯科医師会常務理事/医療保険部部長 恒石 篤司 氏

開催日時：令和6年10月31日（木）19:00～21:00

開催方法：ハイブリッド形式

参加者：148名（歯科医師：85名、歯科衛生士：41名、その他：22名）

## ○摂食嚥下支援等事業

- ・高齢化に伴い、今後更に増加が見込まれる摂食嚥下障害に対応できる歯科医師の育成を目的に平成30年度から実習を開始

令和6年度は、座学研修及び病院や施設等での個別臨床実習を実施

### 【研修内容】

- ・座学研修「食べるを支える歯科医の役割・超入門」

講師：高知県歯科医師会地域包括ケア推進委員会副委員長 島田 力 氏

開催日時：令和7年1月30日（木）19時00分～20時30分

開催方法：ハイブリッド形式

参加者：53名（歯科医師：35名、歯科衛生士：14名、その他：4名）

- ・臨床実習

講師：高知県歯科医師会地域包括ケア推進委員会副委員長 島田 力 氏

育成人数：歯科医師1人（他参加者：歯科医師1名、歯科衛生士3名）

実習期間：令和6年8月21日（水）～令和6年12月4日（水）

実施回数：9回

## ②評価・課題

- 歯科医師・歯科衛生士を対象に、歯科訪問診療の基礎研修及び摂食嚥下支援に関する研修を実施した。引き続き摂食嚥下支援の研修による人材育成や、多職種との連携に向けた事業の実施が必要である。
- 事業所や施設・薬局等への広報活動により、相談件数及び実施件数は例年並みを維持している。一方で連携室への相談は歯科に関心の高い層に限られるため、今後は、歯科相談等のイベントを通じて、口腔ケア・予防に無関心な層を歯科受診につなげる必要がある。

## ③令和7年度の取組予定

### ○在宅歯科連携室の取り組み

高齢や障害などの理由で歯科診療所に通院困難な方の相談窓口業務のほか、下記を実施予定

#### ■在宅歯科連携室検討会の開催

- ・高知在宅歯科連携室検討会 年2回
- ・幡多在宅歯科連携室検討会 年2回
- ・東部在宅歯科連携室検討会 年2回

#### ■在宅歯科連携室の広報活動

- ・多職種への積極的なPR活動を行っていく

#### ■在宅歯科医療連携室運営事業連携協議会

事業内容や稼働・執行状況の報告、広報・周知や他職種との連携について協議を行う

(1回開催予定)

#### ■歯科訪問診療についての研修

診療報酬請求・介護保険請求に関することや医療的ケア児に関することについて研修を行う

(1回開催予定)

#### ■摂食嚥下評価研修

多職種連携（摂食嚥下障害対応）について研修を行う

(1回開催予定)

## (2) 在宅歯科医療従事者研修事業

1. 目的：訪問歯科医療に関する研修及び口腔ケアの実技研修を行い、専門知識及び専門技術の習得による資質向上を図る
2. 対象：主に歯科衛生士等
3. 委託先：学校法人高知学園 高知学園短期大学

### ①令和6年度の取組実績

実施日	内容	会場	参加者数
第1回 R6年8月25日(日)	「生活を支える歯科医療に期待」 講師：栗原 正紀 氏(医師)	高知学園 短期大学	35名
第2回 R6年9月1日(日)	「在宅医療者に必要なエンドオブライフ・ケアの基礎知識 ～納棺師, 歯科衛生士の視点から～」 講師：大堀 嘉子 氏(納棺師, 歯科衛生士)	高知学園 短期大学 + オンライン	81名
第3回 R6年11月24日(日)	「オーラルフレイルと口腔機能低下症予防における 歯科衛生士の役割」 講師：小原 由紀 氏(歯科衛生士) ※実習あり	高知学園 短期大学	33名
第4回 R7年2月11日(火・祝)	①「地域の在宅歯科医療提供体制を 充実させるために必要なこと」 講師：猪原 光 氏(歯科医師) ②「令和6年度診療報酬改定から 歯科医療に期待されていること」 講師：猪原 健 氏(歯科医師)	オンライン	48名
合計			197名
参考R5年度(研修回数：4回)			231名

### ②評価・課題

- 研修の一部を対面形式のみで開催したことにより、昨年度と比較して研修の参加者数が減少した。しかし、実際の機器を用いた口腔機能検査体験実習を取り入れることにより、参加者からも、「実際に体験することで、患者への具体的なアプローチ法を学ぶことができた。」という声があった。今後も、実習は継続しつつ、より多くの在宅歯科医療従事者に研修に参加していただくべく、座学研修についてはハイブリット形式で実施することにより、専門知識及び専門技術の習得・資質向上を図っていくこととする。

### ③令和7年度の取組予定

- 在宅歯科保健医療の知識及び口腔ケアの手技を取得するための座学と実技研修を合計4回以上実施予定

## (5) 災害時歯科保健医療対策

### ① 令和6年度の実績

- 災害歯科コーディネーター等アクションカードの改定について歯科医師会と協議
- 医療救護に関する協定の見直しについて検討

(主な内容)

- ・協定締結の対象：県歯科医師会と県に各市町村を追加
- ・医療救護班：編成・構成を明記するとともにJDAT（日本災害歯科支援チーム）を追加
- 災害歯科保健医療対策検討会の開催（令和7年1月28日）

### ② 評価・課題

- 引き続き、平時から関係団体と災害時の円滑な対応について検討が必要
- 災害時の歯科医療救護活動を担う人材の育成や地域の実情を踏まえた体制づくりが必要

### ③ 令和7年度の実績予定

- 県、県歯科医師会、各市町村と医療救護に関する協定の締結
- 災害歯科保健医療対策検討会の開催
- 災害歯科に関する研修会の開催

新

## (6) 歯科衛生士養成奨学金

### ① 令和6年度取組実績

- 令和6年度新規貸付者 6名  
(現住所地：中央保健医療圏5名、県外1名)  
継続者と合わせて、計8名
- 近畿・中四国の歯科衛生士養成施設、県内の高等学校に制度周知
- 今年度卒業予定の2名に面談し、指定地域での就職意思の確認

### ② 評価・課題

- 令和5、6年度卒業生3名のうち2名が指定医療機関に就職
- 養成施設を通じて、引き続き周知が必要

### ③ 令和7年度取組予定

- 令和7年度新規貸付者 7名  
(現住所地：中央保健医療圏6名、高幡保健医療圏1名)  
継続者と合わせて、計12名
- 奨学金制度活用促進のためのさらなる周知  
・近畿・中四国の歯科衛生士養成施設、県内の高等学校に制度周知
- 今年度卒業予定の1名に面談し、指定地域での就職意思の確認

〈奨学金の支援状況〉

貸付年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
新規貸付者 *	5名	5名	9名	2名	3名	2名	6名	7名	39名

\* 延べ人数

〈卒業者の状況（令和1～7年度卒業生）〉

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (見込み)	合計
指定医療機関へ 就職	0名	4名	2名	8名	3名	1名	1名	19名
その他	1名	1名	2名	1名	0名	1名		6名

## (7) 人材育成

新

### 1) 行政歯科衛生士等育成研修会

#### 1. 目的

市町村によっては、歯科衛生士以外が歯科業務を担当しているケースも多く、各団体に専門職の必要性を知ってもらうためにも、行政歯科衛生士のスキルアップを図り、職域の確保に繋げるため。

#### 2. 対象

行政歯科衛生士、行政で歯科業務を担当している他職種 等

#### ① 令和7年度の取組予定

内 容：行政歯科専門職の役割、行政歯科専門職として目指すべき姿をはじめとする  
「入門/基礎となる内容」を研修のテーマとする予定

実施日	内 容	方法
令和7年9月18日(木) 13:30~15:30	○講演 「行政歯科専門職の現状と課題（仮題）」 ○講師：国立保健医療科学院 客員研究員 安藤 雄一 氏	web形式 (Zoomミーティング)

## (8) 高知県歯と口の健康づくり実態調査

### ① 令和7年度の取組予定

#### 1 目的及び必要性

- ・令和3年度に策定された「第3期 高知県歯と口の健康づくり基本計画」は令和8年度までの5か年計画
- ・令和8年度に「第4期 高知県歯と口の健康づくり基本計画」の策定作業を行うために令和7年度に実態調査が必要
- ・県民の歯と口の健康状態を把握することで、新たな課題を見出し、今後の歯科保健医療対策を計画的に推進

#### 2 調査内容

- ※以下、1～5を総括して歯と口の健康づくり実態調査という。  
 ※調査結果のデータ分析、評価は徳島大学に委託する。

調査名	対象	調査内容	委託先
1 歯科疾患実態調査	県内の歯科医院通院患者 約1,500人	普段の口腔衛生習慣に関する 問診及び歯科健康診査	県歯科医師会
2 妊婦への歯科保健調査	R4～R6年度妊婦歯科健診 受診者 約3,300人	※既存のデータを利用するため今回、新たなアンケートは 実施しない	
3 がん連携に関する医療 機関調査	県内の医療機関 (歯科診療所を除く) 約300施設	がん患者の口腔健康管理や啓 発活動などに関する実態を調 査	民間事業所
4 高齢者の歯と口の健康 づくりに関する施設調査	介護保険サービス提供事業者 に登録されている高齢者施設 約140施設	施設利用者の口腔健康管理 及び関連する職員研修の実態 や歯科医療機関との連携の実 態を調査	
5 障害者の歯と口の健康 づくりに関する施設調査	指定障害福祉サービス事業者 に登録されている障害児・者入 所施設 約35施設	施設利用者の口腔健康管理 及び関連する職員研修の実態 や歯科医療機関との連携の実 態を調査	

#### 3 データ収集方法

- 1 歯科疾患実態調査：約1,500人の歯科医院受診者の口腔内診査及び問診データを収集
- 2 妊婦への歯科保健調査：令和4年度～6年度に市町村が実施した妊婦歯科健診の受診データを利用
- 3 がん連携に関する医療機関調査：がん診療を行う医療機関へのアンケート調査データを利用
- 4 高齢者の歯と口の健康づくりに関する施設調査：高齢者施設へのアンケート調査データを利用
- 5 障害者の歯と口の健康づくりに関する施設調査：障害者施設へのアンケート調査データを利用